

赤 城 産 業

適 用 範 囲		モ デ ル 名		HCP4Z22	
		主仕様	吸吐弁形式	－	揺動弁
			最大吐出量	m³/h	85
			最大吐出圧力	Mpa	7
			ア-ム最大地上高	m	21.5
		適 用 号 機		HG19F001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	31	
		ローター回転数	回/min	N/A	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2,240±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2,000±50)	
		(作動油温度)	(°C)	(55±10)	
	カクハツウチ 攪拌装置	回 転 速 度	min ⁻¹	40±5	
		チェーンのたわみ	m m	N/A	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2,240±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2,000±50)	
		(作動油温度)	(°C)	(55±10)	
	真空ポンプ	圧力設定値	Pa	N/A	
		(設定値到達時間)	(min)	()	
		圧力降下許容量	Pa	N/A	
		(保持時間)	(min)	()	
	Vベルトのたわみ	m m	N/A		
	作業装置	シリンダー 自然降下量	ブーム(1)シリンダー	m m	1.5mm以下
			ブーム(2)シリンダー	m m	1.5mm以下
ブーム(3)シリンダー			m m	1.5mm以下	
ブーム(4)シリンダー			m m		
ブーム(5)シリンダー			m m		
(測定時間)			(min)	10	
(作動計測条件)				(-)	
(作業装置姿勢)		[図面No.]	[図面No.1]		
☆ ブームシリンダー 作動時間		ブーム(1)	伸 び	sec	60±10
			縮 み	sec	70±10
		ブーム(2)	伸 び	sec	65±10
			縮 み	sec	60±10
		ブーム(3)	伸 び	sec	65±10
			縮 み	sec	60±10
		ブーム(4)	伸 び	sec	35±10
			縮 み	sec	30±10
		ブーム(5)	伸 び	sec	±
			縮 み	sec	±
		(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	(2,240±50)
		(作動油温度)		(°C)	(55±10)
		(作業装置姿勢)		[図面No.]	[図面No.4]
	洗浄装置	水 ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油 圧	Mpa
			水 圧	Mpa	15~18
			飛距離	m	20
空 圧 機		吐出圧力	MPa	N/A	
		(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	()
		(エンジン回転数)		(min ⁻¹)	(±)
		(作動油温度)		(°C)	(±)

☆印：新車基準値を表す(参考値)

適 用 範 囲		モ デ ル		HCP4Z22	
		主仕様	吸吐弁形式	－	揺動弁
			最大吐出量	m³/h	98
			最大吐出圧力	Mpa	8.7
			ア-ム最大地上高	m	21.5
		適 用 号 機		HG19F001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
油 圧 装 置	☆ 油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	35±0/-5	
		弁シリンダー油圧	MPa	20±0/-5	
		攪拌モータ油圧	MPa	20±0/-5	
		ブーム油圧	MPa	35±0/-5	
		ACCガス封入圧力	MPa	19±0/-5	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2,240±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2,000±50)	
		(作動油温度)	(°C)	(55±10)	
車 体 ・ 安 全 装 置	☆ 旋回ベアリング 取付ボルトの締め付	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	900N・m	
		内輪取付ボルトの 締め付けトルク	N・m	780N・m	
		旋回ボルトの交換基準	年	3年	
	☆ 旋 回 作 動 速 度	旋 回 速 度	sec	185±30	
		(旋回作動角度)	(度)	(370°)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2,240±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2,000±50)	
		(作動油温度)	(°C)	(55±10)	
	☆ ア ウ ト リ ガ ー	各垂直シリンダー	mm	2	
		(測 定 時 間)	(min)	10	
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図面No.2]	
	特 記 事 項				

☆印：新車基準値を表す(参考値)

赤 城 産 業

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダー 自然降下	アウトリガを最大に張出し、ブームを水平に伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダーにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。ブーム先端はホースのみとし過重は加えない。	図-1 ブームシリンダー自然降下計測姿勢 【下図参照】 ※HCP3Z18についても同様とする
アウトリガシリンダー 自然降下	ブームを収納状態にし、アウトリガを張り出し、10分間の自然伸縮量を計測する。	図-2 アウトリガシリンダー自然降下 【下図参照】

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガを最大に貼り出し、ブームを水平状態にし旋回時間を計測する。	図-3 ブーム旋回作動速度計測 【下図参照】
ブーム伸縮 作動速度	ブームを最大に伸ばし、伸縮時間を計測する。	図-4 ブーム伸縮作動速度計測姿勢